

おはなしまるけ



文字が発明される前にも、“ものがたり”は存在していました。
ひとはなぜ“ものがたり”を語るのでしょうか。どこから“ものがたり”は生まれるのでしょうか。
世界には人が生きてきた歴史の分だけ“ものがたり”があります。
“ものがたり”を紡ぐことで、ある時にはそこに生きる人と土地を守り続け、ある時には豊かな感情を誘い、
人々の生きる糧となってきました。
そう、子どもたちには“ものがたり”という栄養が必要なのです。

ジャングルの動物たちと話がができる。空飛びじゅうたんに乗って空を飛ぶ。三日月にヒモをひっかけて
ブランコをする。想像は無敵大です。
お話の世界にどっぷりつかり、子どもたちが泣いたり笑ったり怒ったり、たくさんの“きもち”を
いっぱいいっぱい動かしてほしい。そんな願いを込めて『おはなしまるけ』が生まれました。



さあ、子どもたちと一緒に、お話の世界を旅しませんか？
自由に想像の翼をひろげて、思いっきり飛び立ちましょう。

制作 田島千穂



まるけ

東海地方の方言。
「～まみれ」
「～だらけ」
「～ばかり」
の意



劇団 風の子中部

☎058-215-7780

Home Page



Face Book

